

平成 21 年度第 3 回サイバー・キャンパス・コンソーシアム
教育専門系グループ運営委員会 議事録 (案)

- I. 日時 : 平成 21 (2009) 年 11 月 2 日 (月) 14 : 00 から 16 : 00 まで
II. 会場 : 私立大学情報教育協会事務局会議室
III. 出席者 : 難波委員、三尾委員 (司会)、竹熊委員 (TV 会議参加)
井端事務局長、森下、恩田

1 議題 : 学士力案の再検討

学士力の 4 案についての委員の先生方から寄せられたコメントを一つ一つ確認・検討しながら修正を加えることにした。修正を加えた点は以下の通りである。

(1) **学びの意義と教育の必要性を論理的、分析的に理解できる。**

変更点 : 目標 1 : 理解できる→説明できる

到達度 A ②先人の言動などを→過去の教育実践や教育思想

到達度 B 言葉で→削除 できること→できる

到達度 C 自ら学ぶ力を有すること→自ら学ぶ力 (問題解決力) を有している。

測定方法 B 教育哲学や教育原論などで→削除

(2) **意欲と能力に応じた学びに配慮した教育をデザイン (設計、実施、評価、改善) できる。**

変更点 : 目標 2 : 意欲と能力に応じた学びに配慮した教育を→実態に応じた学びを教育としてコア・カリキュラム : 教育内容、教育評価を加える。

到達度 A 学習者の意欲、能力を→意欲、能力などを

到達度 B 論理的に→削除

到達度 C 教授法や学習心理等の理論や事例、情報メディアを活用できる
→教育指導の理論と技術を活用できる。

(3) **教育が直面する課題や問題に自らが積極的に関心を持つことができる。**

変更点 : コア・カリキュラム : 生涯教育→生涯学習、また、教育経営を加える

到達度 C 解決案→考え

測定方法 : 前文を次のように変更→A~Cは、変動する社会の教育課題について、ディスカッション、フィールドワークや教育ボランティア等を通じて問題の所在を分析し、自分の考えを示せるかどうかを論述形式、観察法などにより確認する。

(4) **教育学を学んだ者としての責任と義務について、その重要性を自覚できる。**

変更点 : コア・カリキュラム : 生涯教育→生涯学習

到達度 A : 全文改訂→ 教育学を学んだものとしての自負を持ち、学びのある生活を築こうとする意欲を持っている。

到達度 B : 社会生活を営むことができる→教育をするものとしての役割を積極的に果たそうとする姿勢を持っている。

測定方法 : 全文改訂→A~Bは、卒業後の進路において、どのように大学で学んだことを活かしていくか、将来像について日々のゼミ等での発言、ポートフォリオ、レポートなどにより確認する。

*なお、学士力案の文頭に「本学視力は、教職課程にとどまらない教育学の幅広い領域を想定し、検討したものです。」との一文を加え、ABCの記号をそれぞれ①②③に、①②③を(1)、(2)、(3)に置き換える。修正後の委員会案は別紙に示す。

2. 今後の活動について

今年度中にあと2回委員会を開き、「教育学」において情報活用技術をどう活かすのか、を中心に話し合うことになった。次回会合は12月14日(月)14:00~16:00私学協会にて行われる予定である。

3. 配布資料

- (1) CCC教育学運営委員会学士力(案)
- (2) 教育学委員の意見表

以上